

にんじんのツメクサガ（新寄主）

令和3年8月中旬から9月中旬にかけて、比布町（上川農業試験場）の露地栽培にんじんにおいて、葉を食害する緑色または褐色の鱗翅目幼虫が確認された。終齢幼虫の体長は4 cm程度で、頭部には濃い褐色の小さな斑紋を多数、大腮内側中央部には大きく目立つ内歯を有していた。前胸のL1、L2刺毛基部のソケットは斜め約45°に位置し、前胸背楯には細長い棘を多数有していた。にんじんの葉を与えて幼虫を飼育したところ、土中に形成した蛹室内で蛹化した。蛹の体長は2 cm程度で、尾端が細長く伸長して、その側方部は蛇腹状とはならず、末端に2本の尾刺を有していた。以上の形態的特徴および羽化成虫の翅の斑紋から、本種はタバコガ亜科のツメクサガ *Heliothis maritima adauca* Butler と同定された。本種の幼虫は広食性で、道内ではマメ科作物を中心に多くの作物で発生記録があるが、にんじんでは確認されていなかった。

（上川農試）



にんじんのツメクサガ（褐色型）（上川農試 佐々木 原図）